

小田川ダム流域の水田水温と気温・日照時間の関係（１９９９年）

早期警戒情報においては、気温・日照時間・降水量が冷害危険度地帯別に過去７日間の移動平均で示されています。これらのデータと水田水温（午前９時測定）との関係を整理してみました。小田川ダム流域にもっとも近い監視地点アメダス五所川原を使用しました。

１９９９年度は水温測定が日単位で行われたため、水田水温に関しても過去７日間の移動平均値を計算して関係を図示することにします。

ただ、データの欠測が多かったため、図のみ示すことにします。

１）日最高気温と水田水温の関係（図１参照）

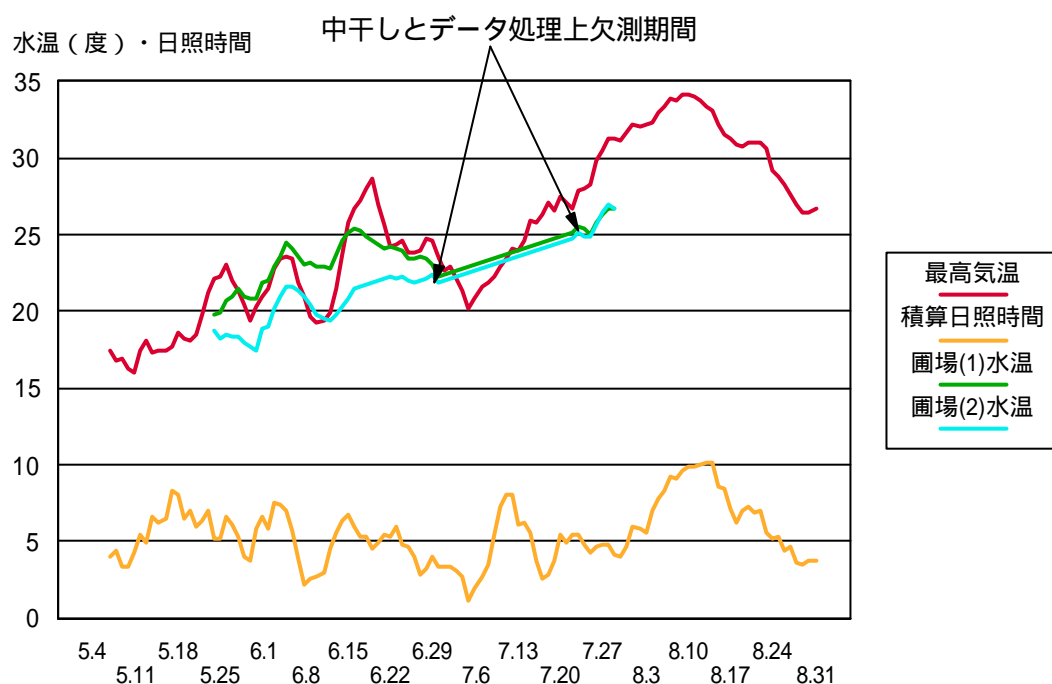


図１ アメダス五所川原の最高気温と水田水温（午前９時）の推移
１９９９年度
過去７日間の移動平均

2) 日最低気温と水田水温の関係 (図2 参照)

水温 (度) ・ 日照時間 中干しとデータ処理上欠測期間

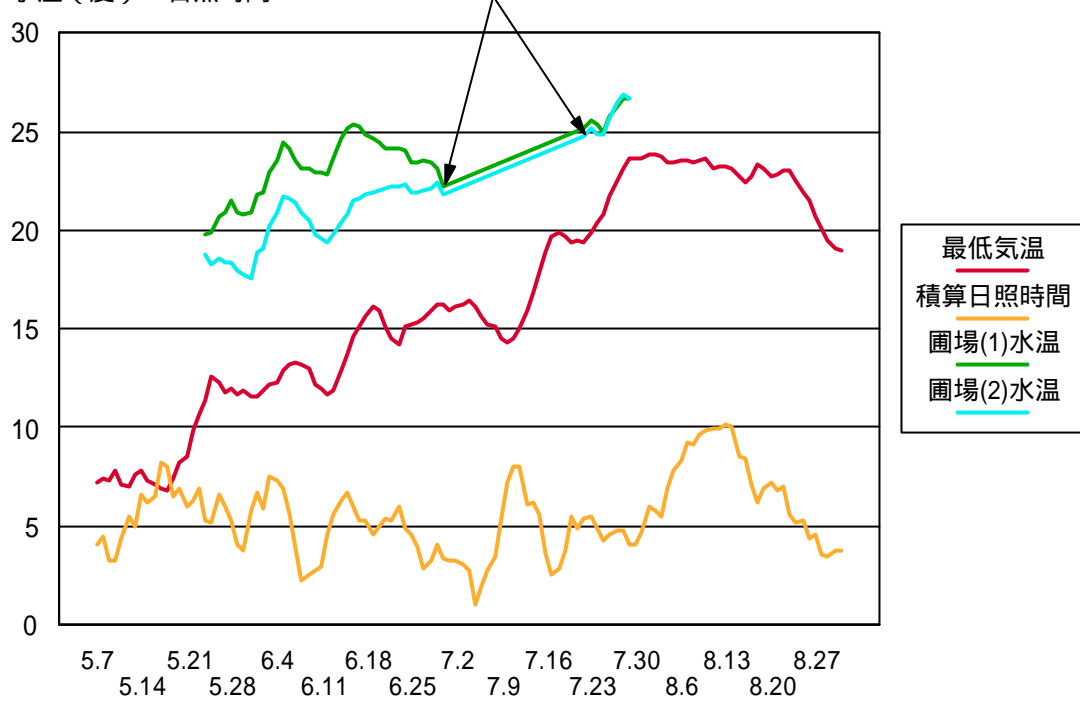


図2 アメダス五所川原の最低気温と水田水温 (午前 9時)の推移
1999年度
過去 7日間の移動平均

3) 日平均気温と水田水温の関係 (図3 参照)

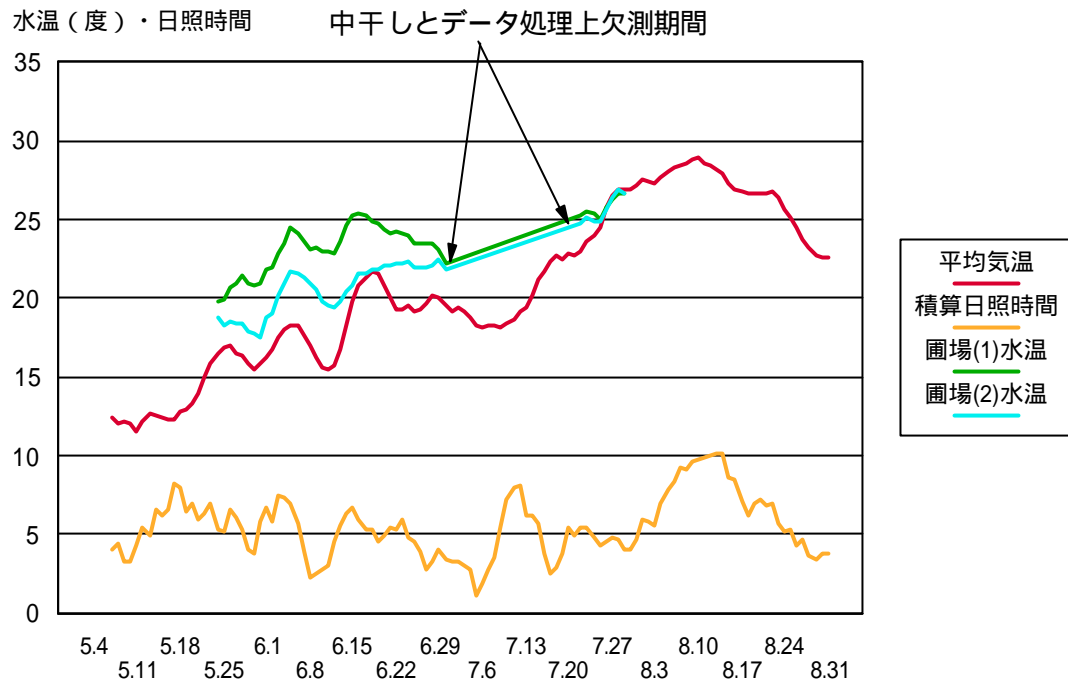


図3 アメダス五所川原の平均気温と水田水温(午前9時)の推移
1999年度
過去7日間の移動平均